

Newsletter

FD・SD活動推進委員会

2019
年度

2019年度を
振り返って...



平素よりFD・SD活動にご協力いただきありがとうございます。年刊誌Newsletterも今回で第3弾の発行を迎えました。2019年度は新年号に変わる節目の年であったとともに、新型コロナウイルス問題勃発の年でもありました。FD・SD活動においても秋期FD・SD研修会の実施が危ぶまれましたが、例年通りの活動を無事に終えることができ、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2019年度は、授業見学・公開サロン、春期・秋期FD・SD研修会、SDサロンの実施に加えて、草の根活動やティーチングポートフォリオ作成サポート、授業改善アンケートの改訂に取り組みました。FD・SD研修会では「日本語能力向上教育」と「授業改善アンケートの活用」をテーマに、SDサロンでは「responの活用」や、以前からご要望のあった「高等教育現場での情報セキュリティ対策」をテーマとして取り上げました。2020年度は引き続き新型コロナウイルス対策で混迷を極める中でのスタートとなりますが、これからも教育・授業運営のサポートが出来るよう、皆様のご意見をいただきながら活動を進めて参りたいと思います。是非これらの機会をご活用ください！

2019年度の取り組み

- | | |
|-----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ manaba説明会 (4/1) ・ 学長と“樟蔭”について語る会 (4/3) ・ 授業見学・公開 (4/6~7/30) |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための中間アンケート (5/6~5/18) ・ 授業見学・公開“推奨ウィーク” (5/20~6/1) ・ 春期授業見学・公開サロン (5/30) |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ SDサロン~成績提出及びmanaba(レスポ) について~ (7/18) ・ 授業改善のためのアンケート (7/16~8/9) ・ 草の根活動「健康栄養学科の授業におけるmanabaの活用」 (7/4) ・ 草の根活動「樟蔭のマナー教育について語ろう！」 (7/25) |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 春期FD・SD研修会 (8/8) 「学生の「読解力」を中心とした日本語能力向上のために-「朝日新聞 時事ワークシート」- |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋期授業見学・公開 (9/27~2/1) |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 草の根活動「PROGテストを活用した学生理解」 (10/24) ・ 授業改善のための中間アンケート (10/28~11/9) |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業見学・公開“推奨ウィーク” (11/4~11/16) ・ 秋期授業見学・公開サロン (11/28) ・ 人権研修会 (11/28) |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ SDサロン~高等教育現場での情報セキュリティ対策の在り方について~ (12/19) |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のためのアンケート (1/14~2/8) |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋期FD・SD研修会 (2/27) 「授業改善アンケートをFD・SDに活かすためには」 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 草の根活動「学科を超えた授業づくり~「文学ゲーム」 応用実践の試み~」 (3/23) |

研修会の実施報告

●学長と“樟蔭”について語る会(4/3開催)



「学長と“樟蔭”について語る会」は、例年新しくご着任いただいた先生方に本学の沿革や最近の現状などについて理解を深めていただくために開催されます。本学の歴史を創立当初からの貴重映像等を交えて楽しく学んでいただき、また、教育への取り組み姿勢や成績評価、学生の現状や学生支援活動、FD・SD活動の目的や活動内容についてお話を聞いていただきました。昼食を囲みながらの学長とのフリートークでは、先生方の自己紹介から始まり、最近の学生気質の変化や指導方法などについて会話が弾みました。

開催日：2019年4月3日(水) 10:30-13:30
参加者：19名(新任教員：6名、専任教職員：13名)
場所：高智館3階 第4会議室

「学生の「読解力」を中心とした日本語能力向上のために―朝日新聞 時事ワークシート」実践報告会」をテーマに、令和元年度の春期FD・SD研修会を開催しました。まず「日本語表現Aでの新聞ワークシートを使った授業構成の紹介と成果」として、杉本香先生(国際英語学科)と富田愛佳先生(国文学科)に、本学での新聞ワークシートの活用事例をご紹介いただきました。続いて「新聞ワークシートの他大学活用事例紹介」を竹中和正様(朝日新聞社東京本社教育総合本部)にお話しいただきました。



最後に、参加者が複数のグループに分かれて新聞ワークシートの活用法について自由に意見を出し合いました。参加者からは「学生に文章を読むきっかけを授業で提供し、新聞や本を読む習慣を身につけてほしい。」などのご意見があり、プログラムに関心を持っていただけた様子が伺えました。

●春期FD・SD研修会(8/8開催)



開催日：2019年8月8日(木) 11:00-12:30
参加者：33名(専任教員：32名、専任職員：1名)
場所：清志館3階 G301教室

●秋期FD・SD研修会(2/27開催)



現在、FD・SD活動推進委員会では授業改善アンケートをより授業改善に役立つものに変えるべく、見直しを進めています。この見直しに合わせ、2019年度秋期FD・SD研修会は「授業改善アンケートをFD・SDに活かすためには」をテーマに開催しました。今回は、大阪大学 全学 教育推進機構 教育学習支援部 村上正行先生にご講演をいただきました。



村上先生からは、授業アンケートの項目の作り方や、結果解釈における注意点など、さまざまな視点からのご示唆をいただきました。特に、「学生への結果の適切なフィードバックは重要であり、教員がアンケート結果をどのように捉えているかを伝える必要がある」とのお話は大変印象に残るものでした。ご講演の後には授業改善アンケートの活用状況や見直し案に関するグループワークも実施し、活発な意見交換が行われました。

開催日：2019年2月27日(木) 10:00-11:30
参加者：34名(専任教員：34名)
場所：清志館3階 G304教室

草の根活動の実施報告

●健康栄養学科の授業におけるmanabaの活用(7/4開催)

授業における活用の可能性について共有するため、実際に授業で活用している教員が、manaba・responの活用例を紹介しました。活用の難しい授業(調理が伴う実習など)も多いですが、出席管理以外の機能について知って頂くよい機会になりました。



●樟蔭のマナー教育について語ろう!(7/25開催)

2018年度教育改革促進支援費の助成を受けて改訂した「あなたは大丈夫? 樟蔭マナーレッスン」DVDを視聴しながら、内容について先生方と語り合いました。「日頃の思いを共有できてよかった」というご感想をいただきました。

●PROGテストを活用した学生理解(10/24開催)

心理学科では、ジェネリックスキルを測定するPROGテストの結果説明会に参加し、結果から学生の特徴について、理解を深めました。そして、学生達のジェネリックスキルを高めるための教育について検討しました。

●学科を越えた授業づくり~「文学ゲーム」応用実践の試み~(3/23開催)

国文学科長谷あゆみ先生が実践しているゲーム形式の授業を心理学科の教員が実際に体験し、複数学科の協働授業を模索しました。

●春期・秋期授業見学・公開サロン(春期:5/30・秋期:11/28開催)



春期と秋期に一度ずつ、授業見学公開サロンが行われました。授業見学公開に関することばかりでなく、FD・SDに関わる旬の話題、授業の悩みといった普遍的な話題についても、自由に、和やかに話し合われました。

春期では、本年度より出席管理ツールとして導入されたresponの活用法や、見直される予定の期末の授業改善アンケートについて話が盛り上がりました。responの活用法に関しては、その場でパソコンを使っての実例呈示が見られました。また、ICT活用全盛の今における板書の再評価についての話もありました。

秋期では、春期にひきつづきresponの活用法や、responを使った出席管理の課題について話し合われるとともに、秋期からUNIVERSAL PASSPORTにポータルシステムが変更になったことを踏まえ、システムに適應する上での悩みやそれに対するアドバイスなどの意見交換がありました。話は、responなどのICTを授業で活用するためのWi-Fi環境についてまで及び、本学の授業環境の中での効果的な授業の工夫について、アイデアが聴けました。

春期<2019年5月30日(木) 17:00から/参加者:37名/場所:清志館5階 G504ミーティングルーム>

秋期<2019年11月28日(木) 18:00から/参加者:23名/場所:清志館5階 G504ミーティングルーム>

●SDサロン(第1回:7/18・第2回:12/19開催)

第1回『成績提出及びmanaba(レスポンス)について』

ラーニングサポートとITサポートの職員に参加してもらい、授業の総仕上げである成績提出と出席管理に新しく導入されたmanaba(レスポンス)をテーマにサロンを実施しました。参加した先生からは、「気軽に質問ができる機会となり、よかった」とのご感想を頂いております。テーマの成績提出やレスポンスに留まらず、ITの活用など日頃の教務に関する情報交換が行われ、教職員間の交流のきっかけとなったのではないのでしょうか。

<2019年7月18日(木) 13:00-14:30/参加者:12名/場所:清志館5階 G503ミーティングルーム>



第2回『高等教育現場での情報セキュリティ対策の在り方について』

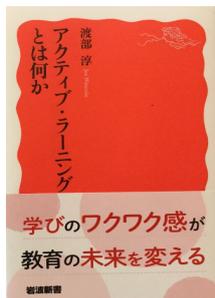
ライフプランニング学科の遠藤晃男先生より特別に情報セキュリティ対策についてのミニレクチャーを頂き、参加者全体でディスカッションを行いました。参加者全員が、情報セキュリティ対策の重要性を理解するだけでなく、学生を含めた大学全体でのルール作りや教育の必要性を強く認識することのできたサロンとなりました。今後も、気兼ねなく話しができる場としてSDサロンを実施してまいります。教職員の資質向上および交流促進へ貢献できれば幸いです。

<2019年12月19日(木) 13:00-14:30/参加者:14名/場所:清志館5階 G503ミーティングルーム>



FD・SD関連書の紹介

『アクティブラーニング 学校教育の理想と現実』
小針 誠 著 講談社現代新書2471 2018年3月



『アクティブ・ラーニングとは何か』
渡部 淳 著 岩波新書1823 2020年1月

ついに「アクティブラーニング」が一般の啓蒙を目的とする新書に取り上げられるようになりました。ということは、単に教育業界の内輪で流行した話題から広がり、このキーワードが一般に浸透してきた証拠であるといえます。小中高の新学習指導要領ではカタカナ表現を避けて「主体的・対話的で、深い学び」と呼ばれますが目指すところは変わりません。小針本は日本の教育史の流れの中で「アクティブラーニング」の位置づけを考えており、渡部本は「アクティブラーニング」として現在どのような実践があり、さらにどのような指導を目指すべきなのかを考えています。このような教育手法で学んできた学生が今後大学に進んでくるわけで、大学教員として無関心ではられません。大学教員向けには『アクティブラーニング シリーズ大学の教授法』(中井俊樹編著、玉川大学出版部、2015年)や『ディープ・アクティブラーニング 大学授業を深化させるために』(松下佳代編著、勁草書房、2015年)が早くに出版されています。大学の全ての授業を「アクティブに」することは難しいですが、常に意識はしておきたいと思います。まずは一読を。

数字で見るFD・SD活動（2019年度）

55件

「授業見学・公開」の授業見学数（通年）

●2018年度より、手間がかからず、より参加しやすいフリースタイルの「授業見学・公開」を提案し、授業見学レポートを簡素化しておりますが、今年度は前年度よりも授業見学数が減少しました。ぜひ皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

94% / 96%

FD・SD研修会満足度（春期／秋期）

●今年度も春期・秋期で開催した研修会には多数の先生方にご出席いただき、大変ご好評をいただきました。研修会のアンケートでいただく先生方からのご意見を参考に、本学FD・SD活動を活性化し、皆さまに満足いただけるような研修会を検討致します！

50% / 35%

授業改善のためのアンケート回答率（春期／秋期）

●今年度は秋期より学事システムが新しくなり、Webアンケートの実施方法が春期と秋期で異なったためか、秋期の回答率が下がりました。本委員会としては「中間アンケート」をより多くの授業で活用し、学生にフィードバックいただきたいと考えております。先生方の積極的なご活用をお願いいたします。

64%

学内で開催するFD・SD研修会・サロン参加率

●今年度も本委員会ではFD・SD研修会や授業見学・公開サロン、SDサロンなど取り組みを実施し、これらにご出席いただいた専任教員は64%（全体99名中63名）でした。さらにポイント対象の全ての研修会・説明会を含めると97%になりました。

33%

FDポイント基準以上取得者数（全体99名中30名）

●FD活動への自主的、積極的な参加を促進することを目的として、専任は単年度に7ポイント以上を目安に、新任専任教員は9ポイント以上を取得することを基準としております。今年度基準以上のポイントを取得された方は前年度の28%から増加しました。

25ポイント

FDポイント最高取得ポイント数

●基準以上FDポイントを取得された先生方へは生協で使用できる金券を贈呈しますが、さらに単年度で20ポイント以上取得した先生へは、次年度初回の教授会にて学長から特別に顕彰されます。今年度は2名の先生方が顕彰されることになりました！

●より多くの教職員がFD・SD活動に積極的に参加できるよう、FD・SD活動に関する情報や考えを共有できるツールとして「FD・SDメーリングリスト」を活用しております。

《FD・SD活動推進委員会へのご意見・ご連絡》
fd-sd-ml@osaka-shoin.ac.jp へ送信してください

●「FD・SD活動推進委員会で取り上げてほしい」等、サロンや研修会等のリクエストがありましたら、是非ご連絡ください。

皆さまの積極的なFD・SD活動への参加を期待しております！

FD・SD活動推進委員会

問い合わせ先：教育開発部 修学支援課 (fd-sd@osaka-shoin.ac.jp)